小学部３組　生活単元学習　学習指導案（略案）

日　　時　令和８年 11 月６日金曜日
　　第２校時　10：30～11：10
場　　所　小学部３組教室
授 業 者　吉野時緒（T1）峯岸　誠（T2）
　　花岡　悠（T3）

１　単元名　「さんさんショップを　ひらこう」

２　単元のねらい

・これまでの学習で身に付けた力を生かして、見通しをもって活動し、他のクラスの友達に喜んでもらうことを楽しみにしながら、最後まで活動に取り組もうとすることができる。（がんばる子）
・相手の希望を聞いたり、作品を見比べたりしながら、色や形などを自分なりに選択し、相手が喜ぶことを考えて作品やお店を工夫することができる。（なかよくする子）
・修学旅行やこれまでの学習で身に付けた粘土の扱い方や人と関わる力を、新たなものづくりやお店屋さんの活動に生かし、相手や目的に合わせて自分なりに工夫しながら取り組むことができる。（ひろげる子）

３　単元の指導計画（１２時間　本時８／１２）

次	時数	○学習活動	中心となる教科等の内容	知・技	思・判・表	主
1次	1	「さんさんショップ①」 ○お店屋さんをやろう。 ○誰を呼ぶか知ろう	【生活】 キ　手伝い・仕事 【国語】 ２段階　読むこと　ウ		○	○
	1	「さんさんショップ②」 ○何を作るか決めよう	【生活】 キ　カ　役割 【国語】 ２段階　読むこと　ウ		○ ○	○
2次	3	「さんさんショップ③」 ○品物を作る	【生活】 ２段階　ウ　日課・予定 １段階　カ　役割 【国語】 １段階　聞くこと話すこと　イ ２段階　聞くこと話すこと　ア ２段階　読むこと　ウ 【図工】 ２段階　ア	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○
	2	「さんさんショップ④」 ○色付け・仕上げをする				
	2	「さんさんショップ⑤」 ○開店準備をする（看板・店頭準備）				
3次	1	「さんさんショップ⑤」 ○お店屋さん練習	【生活】 オ　人との関わり カ　役割 キ　手伝い・仕事 【国語】 ２段階　読むこと　ウ	 ○	 ○	○ ○ ○ ○

4次	**1**	「さんさんショップ⑥」 〇開店	【生活】 オ　人との関わり カ　役割 キ　手伝い・仕事 【国語】 ２段階　読むこと　ウ	 〇	 〇	 〇 〇 〇
5次	**1**	「ふりかえろう」 〇「楽しかったこと」「がんばったこと」を話す	【国語】 ２段階　聞くこと話すこと　ウ 【国語】 １段階　書くこと　ア	 	 〇 〇	

4　本時について

（1）本時のねらい

・自分が作った作品を見ながら、色や模様、飾り方などを自分なりに選び、見通しをもって最後まで仕上げようとすることができる。（がんばる子）
・教師と相談しながら、「相手に喜んでもらうにはどうしたらよいか」を考え、色や模様を工夫することができる。（なかよくする子）
・これまでの粘土学習や益子での手び練り体験で身に付けたことを生かし、他学級の友達に合わせて色や模様を自分なりに工夫して作品を仕上げることができる。（ひろげる子）

（2）本時の学習活動・取り扱う教科等の内容

学習活動	取り扱う教科等の内容
色付け・仕上げ	【生活】１段階　カ　役割　集団の中での役割に関心を持って、制作活動に取り組むことができる。〈思・判・表〉 【国語】２段階　読むことウ　手順表を頼りに、活動に見通しを持って、活動に取り組むことができる。〈知・技〉 【国語】１段階　聞くこと話すことイ　教員の働きかけに応じて行動することができる。〈思・判・表〉 【図工】2段階　ア（１）ア　形や色などの違いに気づき、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫して作ることができる。〈知・技〉

（3）　本時の個別の支援・手立て、評価の判断の基準、評価

	本時の個人目標	学習活動	評価の「判断の基準」 ▶支援・手立て
L	〇活動の内容や方法を知り、教員と一緒に色や形を選んで、色を塗ることができる。	色付け・仕上げの活動に取り組む。	・使う道具や作品に視線を向けながら、教員と一緒に作業を進めることができる。 ▶工程ごとに使う道具を提示する。後ろから手を添えるなどの身体支援を行う。
M	〇活動の内容や方法を理解し、教員と一緒に調査カードを確認しながら色や形を選んで、一人で色付け・仕上げの工程に取り組むことができる。	色付け・仕上げの活動に取り組む。	・他学級の友達や教員の好みの色を確認しながら、教員と一緒に作業を進めることができる。 ▶机上に、買いに来る教員や他学級の友達の好みのマークや色を提示しておき、適宜注目できるよう言葉かけを行う。その後、仕上げの作業ごとに使う道具を提示する。
N	〇活動の内容や方法を理解し、教員と一緒に調査カードを確認しながら色や形を選んで、一人で色付け・仕上げの工程に取り組むことができる。	色付け・仕上げの活動に取り組む。	・他学級の友達や教員の好みの色を確認しながら、教員と一緒に作業を進めることができる。 ▶机上に、買いに来る教員や他学級の友達の好みのマークや色を提示しておき、適宜注目できるよう言葉かけを行う。その後、仕上げの作業ごとに使う道具を提示する。

O	○教員の支援を受けながら調査カードを確認し、自分で色や形を選んで、色付け･仕上げの工程に取り組むことができる。	色付け・仕上げの活動に取り組む。	･他学級の友達や教員の好みの色を確認しながら、作品の色付けや仕上げを考えることができる。 ▶机上に、単元の始めに調べた、買いに来る教員や他学級の友達の好みのマークや色を提示しておき、適宜注目できるよう言葉かけを行う。
P	○活動の内容や方法を知り、教員と一緒に色や形を選んで、色を塗ることができる。	色付け・仕上げの活動に取り組む。	･使う道具や作品に視線を向けながら、教員と一緒に作業を進めることができる。 ▶工程ごとに使う道具を提示する。後ろから手を添えるなどの身体支援を行う。
Q	○教員の支援を受けながら調査カードを確認し、自分で色や形を選んで、色付け･仕上げの工程に取り組むことができる。	色付け・仕上げの活動に取り組む。	･他学級の友達や教員の好みの色を確認しながら、作品の色付けや仕上げを考えることができる。 ▶机上に、単元の始めに調べた、買いに来る教員や他学級の友達の好みのマークや色を提示しておき、適宜注目できるよう言葉かけを行う。

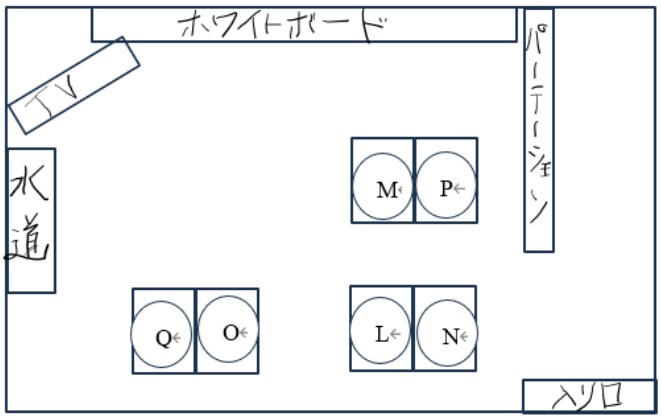
（4） 本時の展開

時間	学習活動	教員の動き（○） 支援（・）
5分	○挨拶をする。 ○前時までの振り返りをする。 ・「さんさんショップ」の目的は ・誰がお客さんで来るか ・なにをつくっているか ○本時のめあてを知る。 【友達の好きな色を思い出して、喜んでもらえる仕上げをしよう】	○スモックを着るよう準備を促す(Ｔ２、Ｔ３) ○当番の児童に言葉かけを行う。 ○モニターで振り返りを行う。 ・これまでの制作過程を写真で提示し、粘土を使った活動の積み重ねを実感できるようにする。
30分	○自分が担当するマグネット、箸置き、ペン立て、小皿などを確認する。 ○仕上げ・色塗りに取り組む。 [マグネット・メモスタンド・ペン立て] ⇒絵の具 [箸置き・小皿]紙やすり・アクリル絵の具 児童 L/M/N/O/P/Q　判断の基準 ①誰のために、どのような製品を作るか確認する。 ②仕上げをする粘土の形や色を選び、活動の見通しを持つ。	○自分が担当する製品をモニターと実物を提示しながら伝える。 ○製品の状態を児童と一緒に確認し、仕上げ・色塗りを行う。状態が悪いものは、仕上げをするよう促す。 ・調査カードを提示し、相手の好きな色やマーク、形を確認できるようにする。 ・「○○くんは、☆マークと青色が好きみたいだよ」など相手と製品を結びつけられるよう言葉かけを行う。 ・児童が色塗りに使う道具や手順を確認できるよう、言葉かけや指差しを行う。一人で確認が難しい児童には、教員が支援し、一緒に準備・活動ができるようにする。

	③紙粘土の製品を仕上げ、色塗りをする。	・児童自身が色を選択できるように、色カードや実物を提示して、選択できる場面を確保する。 ・途中で調査カードを見直し、自分の選んだ色や塗る粘土の形を確認できるよう言葉かけを行う。 〇できあがった作品は混ざらないよう、各グループでお盆にまとめる。
5分	〇出来上がった製品を確認する。 〇日直の号令に合わせて挨拶をする。	〇作品をホワイトボード前でT2、T3から預かり、児童を呼名する。 ・児童と一緒に作品と調査カードを見比べながら、誰のために作ったか、どんな好みを参考にしたかを振り返る。 ・はみ出さずに塗ることなどの技術面だけを重視せず、相手の好みを参考にして色を決めたり、自分から調査カードを確認したりしたことを称賛する。 〇当番の児童に言葉かけを行う。

5　備考

・教室配置図



・教材教具

テレビ、タブレット、スピーカー、調査カード、アクリル絵の具、水彩絵の具、紙やすり、新聞紙、メモスタンド、ペン立て、マグネット、小皿、箸置き